

せんだい・みやぎNPOセンター主催
小さな自治体のための特別セミナー

ウェブを活用した 協働事例の発信と報告 ～CANPANのご紹介～

2008年11月19日（水）仙台
於：仙台市市民活動サポートセンター

日本財団 CANPAN運営事務局
ポータルプロジェクト担当
荻上 健太郎

<http://blog.canpan.info/kaizokudan/>

目次

1. 日本財団とは？
2. 協働の推進になぜ情報インフラが必要か？
3. CANPANのご紹介
4. 協働の推進をCANPANが応援
5. 悩みその1の解決策
6. 悩みその2の解決策
7. 悩みその3の解決策

1. 日本財団とは？

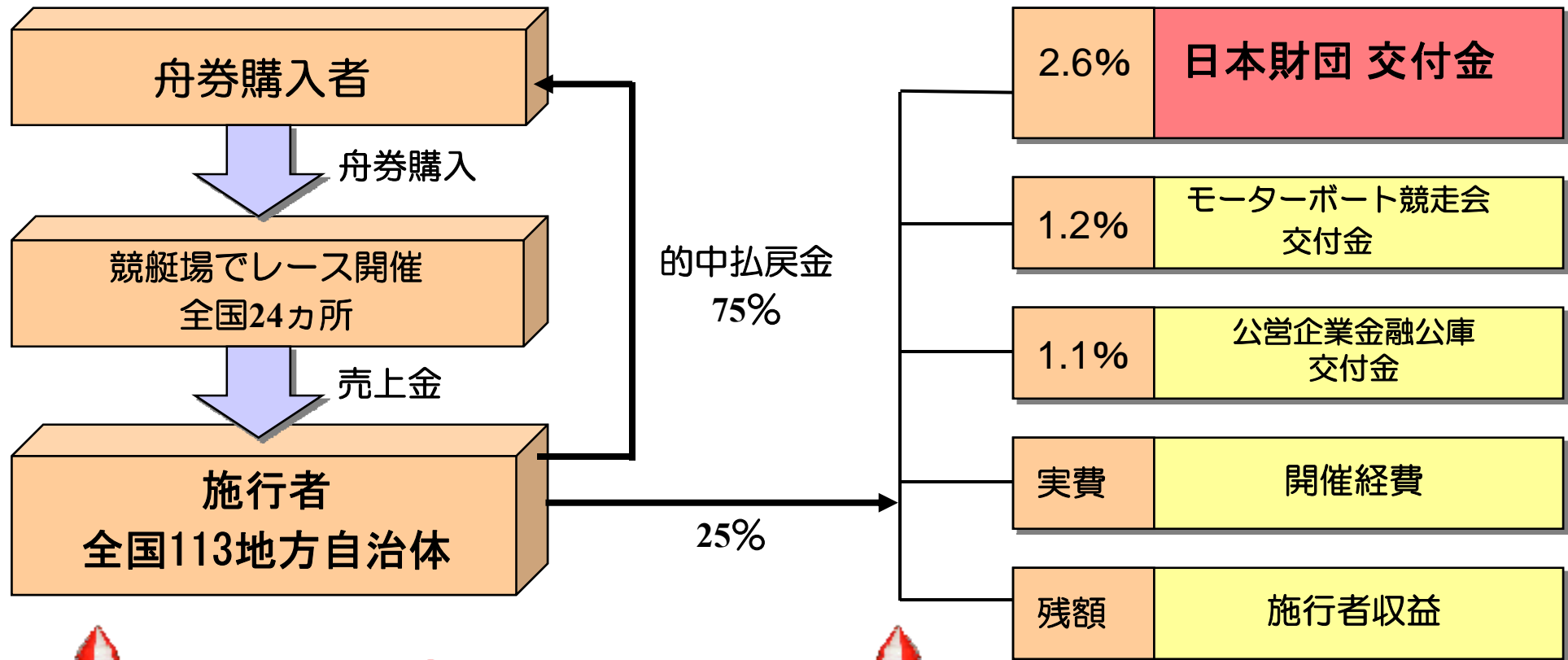
1. 日本財団とは？

- ・1962年設立の民間の助成財団
- ・正式名称は、（財）日本船舶振興会
- ・競艇の売上金（2.6%）をもとに活動
- ・国（官）ではできないことや、施策が行き届かない問題の解決のために、「公の心」をもちながら「民の視点」で取組んでいます。

1. 日本財団とは？

「モーターボート競走法」(1951年制定)により規定

競艇の売上金の流れ



1. 日本財団とは？

競艇場：24ヶ所

場外売り場：33ヶ所



1. 日本財団とは？



日本財団（にっぽんざいだん）は、競艇の売上の2.6%をうけて、全世界のハンセン病の制圧プロジェクトやマラッカ海峡の航行の安全といった大型プロジェクトから、災害におけるボランティア活動にいたるまで、様々な「社会のお役に立ちたい」という事業を支援している助成団体です。



日本財団の事業 ～ 3つの柱 ～

1. 海や船に関する支援
2. 文化、教育、社会福祉等に関する支援
3. 海外の協力援助活動への支援



【2007年度実績：3,475事業 約252億円】



1. 自己紹介

荻上 健太郎（おぎうえ けんたろう）

■1973年米国ミシガン州生まれ（35歳）

→でも「2歳で帰国」し英語は苦手

■大学時代はテニス三昧の日々

→「学費はテニスコート代に消える」

■1998年日本財団に入会

ボランティア活動支援、国際協力プロジェクト担当を経て、現在は、システム統括グループ情報コミュニケーションチーム

→「辞令コレクター」の異名をとる

■助成金講座、情報開示・発信講座、ブログ活用講座など、様々なテーマによる講座を全国各地を飛び回って実施中。

→「全国のうまい酒と肴を満喫してる」と疑われる

■詳しくは、私のブログ「晴耕雨読」をご覧ください！

(<http://blog.canpan.info/kaizokudan/>)

2. 協働の推進になぜ情報インフラが必要か？

2. 協働の推進になぜ情報インフラが必要か？

■協働と情報

協働の推進に情報は必要不可欠。

■情報の特性

特性1：情報は量より質が重要である。

特性2：情報は点在より集合すると価値が高まる。

特性3：情報は共通言語化すると力を発揮する。

→情報インフラにより、上記の特性を満たすことが可能！

2. 協働の推進になぜ情報インフラが必要か？

■情報インフラの効能

効能1：枠組み効果により一定の質（基準）を満たせる。

効能2：集客効果により情報の集合化が進む。

効能3：共用効果により共通言語として普及が進む。

→情報インフラにより、

「情報」が

「協働の推進に必要で役に立つ情報」へと進化・深化する！

2. 協働の推進になぜ情報インフラが必要か？

■情報インフラの注意点

注意1：枠組みを狭くすると閉じた世界を構築してしまう。

注意2：一度構築すると運用のコスト（費用と人材）がかかる。

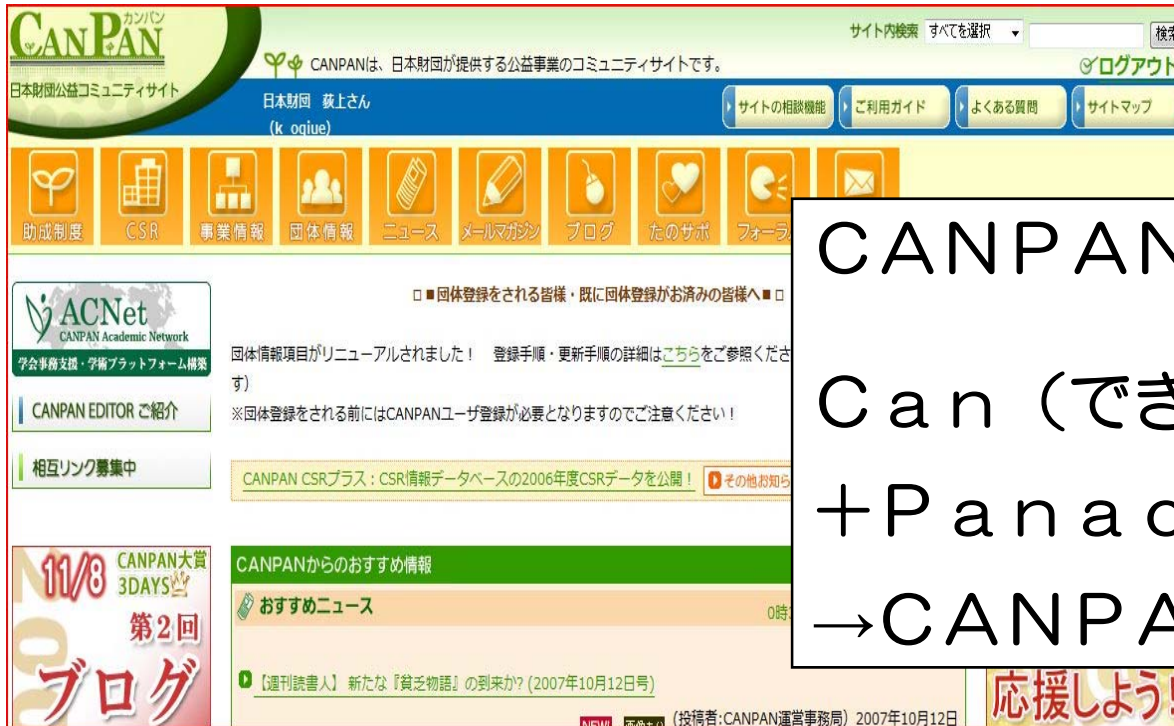
注意3：利用されないインフラはむしろお荷物。

→「官製情報インフラ」よりも、
「民が公の視点」で行う「民製情報インフラ」の方が適している！

3. CANPANのご紹介

3. CANPANとは？

公益に関わるすべての人にご利用いただける
ウェブサイトです。



CANPAN (カンパン) の由来は？
Can (できる)
+ Panacea (万能薬)
→ CANPAN (なんでもできる)

<http://canpan.info/>

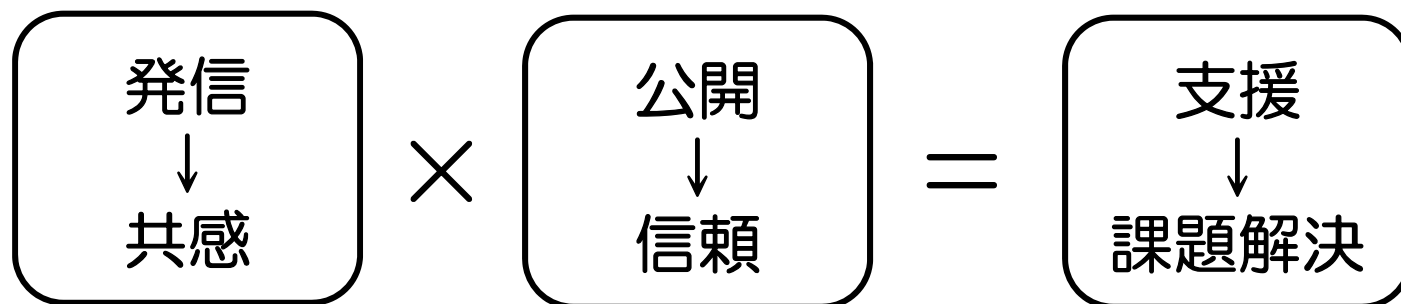
3. CANPANのミッション

■CANPANのミッション

「共感×信頼＝支援」というコンセプトに基づく社会情報インフラを提供し、公益活動を支援することで、民が民を支える社会を推進し、明るく元気な暮らしやすい日本を実現する。

このミッションを実現するため、「世のため人のために」という思いをもつ全ての人にご利用いただける公益コミュニティサイトがCANPANです。

■CANPANのコンセプト



3. なぜCANPANを推進するのか？

■助成金の有効活用

- ・助成実績の情報開示だけではもったいない。
- ・事業プロセスの発信や事業成果の公開が助成金の価値を高める。

→事業プロセスや事業成果も活用できる「情報インフラ」が必要。

→進捗報告はブログで。事業管理の方法にも変化が！

■インフラの共通化による社会資源循環の最適化

- ・団体データベースが独立、乱立、機能不全、している。
- ・ばらばらのインフラが無駄な労力を助長（三方悪し）。
- ・存在主義ではなく、実効主義のインフラの共用が基盤となる。
- ・無駄なインフラ投資を本当に必要な活動に配分。

→社会の資源循環を最適化する「情報インフラ共通化」が必要。

3. CANPANの主な機能

- (1) 団体や個人の情報発信をサポート→CANPANブログ
- (2) 団体の情報開示をサポート→団体情報開示機能
- (3) CSRに関するコミュニケーションをサポート→CSRプラス
- (4) 地域で地域を支える仕組みをサポート→ポータル機能
- (5) 公益活動の知的財産共有をサポート→日本公益図書館
- (6) 公益流通をサポート→カード決済機能（2008年11月から）

様々な情報・機能を用途に合わせてご利用ください！

3. CANPANの現状

< CANPANの現状データ（2008年9月時点） >

ビジット数 : 146万人（月間）

ページビュー数 : 900万ページ（月間）

ユーザ数 : 7,675名

登録団体数 : 2,676団体

ブログ数 : 3,780ブログ

（団体ブログ : 820ブログ）

（個人ブログ : 2,960ブログ）

登録企業数 : 1,934社

4. 協働の推進をCANPANが応援

4. 協働の推進に関する3つの悩み

■悩みその1

信頼関係の構築につながる情報開示はどのようにすればよい？

■悩みその2

社会からの信頼と共感を得る協働を実現するための情報発信とは？

■悩みその3

協働の推進を加速するために必要な情報インフラとは？

5. 悩みその1の解決策 ～団体情報開示機能～

5. 悩みその1の解決策

■団体情報開示機能■

社会からの信頼獲得に必要な、適切な情報開示の基盤を提供。

1. 項目設計の汎用性

IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]が実施した、全国53助成機関の81プログラムを対象とした「申請書で何が聞かれているのか？」調査の結果を参考に項目設計しているため、情報の必要性和汎用性が高い。

2. 情報開示レベルの視覚化

情報開示の取り組みレベルを★印5段階で視覚化。情報開示に積極的に取り組んでいる団体が一目で分かります。

3. 第三者認証による信用保証

ポータル機能（後述）と連動することで、第三者認証による信用保証の確認が可能。

5. 悩みその1の解決策

■団体情報開示機能の今後の展開■

- ・ 助成金申請と連動

日本財団の助成金にインターネット申請する際、CANPANで情報開示している項目がそのまま流用可能。将来は他の助成機関にも展開を検討。

- ・ 決済機能との連動

情報開示レベル★5つの団体に、簡単、気軽（無料から）に利用できるカード決済の仕組みを提供予定。

5. 悩みその1の解決策

<悩みその1>

信頼関係の構築につながる情報開示はどうすればよい？



<CANPANの団体情報開示機能>

- ・ NPO：悩むことなく、簡単、確実に取り組める。
- ・ 行政：相手を知るために必要な情報が分かる。



悩みが解消！

6. 悩みその2の解決策 ～CANPANブログ～

6. 悩みその2の解決策

■CANPANブログ■

日本で唯一の「公益専門」のブログサービスです。
ブログはホームページにもなり、携帯からの更新もできるので、
効率的で効果的な情報発信が簡単に実現可能です。

<CANPANブログの特徴>

- (1) 無料なのに広告がない
- (2) 実名主義で信頼のあるコミュニティ
- (3) 著作権がユーザにあるので安心
- (4) ワードやPDFなどのファイルも公開できる

CANPANブログ：<http://blog.canpan.info/>

6. 悩みその2の解決策

■CANPANブログの活用事例紹介■

(1) コミュニティ2.0～地域の夢と希望が奏でるブログ～

行政も部課名を公開して情報発信中！

<http://blog.canpan.info/morikichi/>

(2) 海山にこいま

指定管理者もブログ！型にはまった報告書よりも市民や地域に開かれた情報発信！

<http://blog.canpan.info/furusatokikaku/>

(3) みなおブログ 二南大隅町教育委員会二

教育委員会もブログ！学校や地域との信頼で顔の見える発信！

<http://blog.canpan.info/minao/>

(4) 一戸町立図書館☆あねっくす

町立図書館もブログ！小さな図書館だってとても魅力的に！

<http://blog.canpan.info/tosyokan/>

(5) へんこつ侍ただいま参上！！

行政職員もブログ！立場の難しさはあるけど発信がご縁の輪を広げる！

<http://blog.canpan.info/henkotsu/>

6. 悩みその2の解決策

<悩みその2>

社会からの信頼と共感を得る協働を実現するための情報発信とは？



<CANPANブログ>

- ・ 協働事業をプロセスからオープンにできる。
- ・ 行政でも安心して利用できる。
- ・ 簡単なので手間やコストをかけずに実現できる。



悩みが解消！

7. 悩みその3の解決策 ～地域・テーマ公益ポータル～

7. 悩みその3の解決策

■地域・テーマ公益ポータル■

<ポータルとは？>

CANPANのミッションに基づき、地域で地域を支える公益活動に必要な、人、もの、金、情報などの経営資源の流通基盤となる情報システムを提供する。このシステムが「地域・テーマ公益ポータル」です。

2008年度はIHOEにご協力いただき、全国から18の中間支援組織が参加して「地域・テーマ公益ポータル推進プロジェクト」として進行中。

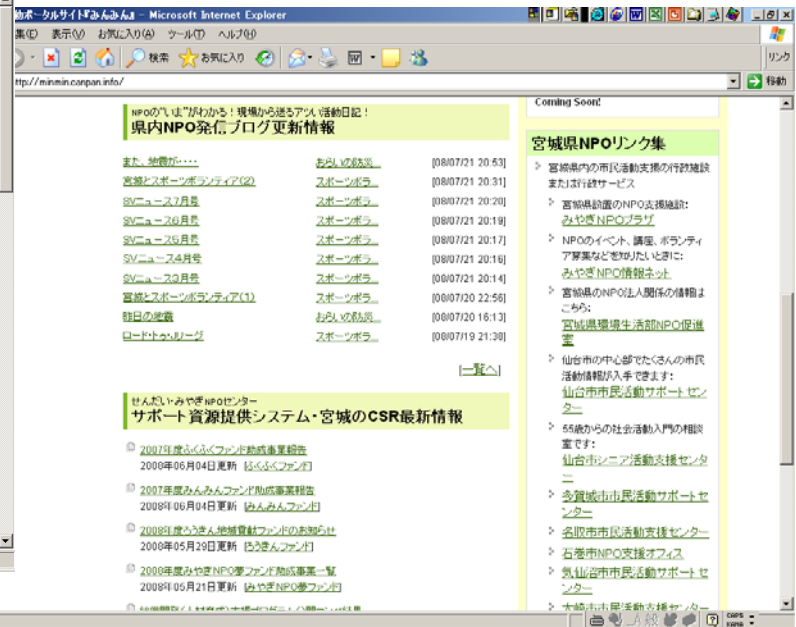
<重要なポイント>

- ・単なる団体情報データベース構築ではない。
- ・経営資源の流通に必要な中間支援機能をサポート。
- ・情報開示による信頼基盤と認証による信用保証がセット。

7. 悩みその3の解決策

■公益ポータルサイトの事例紹介■

みんなみんなポータル (<http://minmin.canpan.info/>)
運営：せんだい・みやぎNPOセンター



サポート資源提供システムとNPO情報ライブラリーのシステムでCANPANを利用

7. 悩みその3の解決策

■公益ポータルのメリット■

■NPOにとって

- ・ 中間支援の第三者認証による信用保証。
- ・ 効率的で効果的な情報開示のサポートを得られる。
- ・ 単独での発信よりも情報発信力が高まり、得られる効果も大。
- ・ 地域を支える仕組みの好循環の輪に入れる。
- ・ ブログ、CSRプラス、決済機能等の各種機能との連携効果。
- ・ 運営者が日本財団である信頼性と安心感。

7. 悩みその3の解決策

■公益ポータルのメリット■

■行政にとって

- ・信頼できるNPOの選別が容易かつ第三者認証による安心感。
- ・協働事業の過程や成果等の情報発信がより効率的、効果的に。
- ・インフラへの投資、維持コストの削減。
- ・共通インフラの利用による他地域との連携効果や集客効果。
- ・ブログ、CSRプラス、決済機能等の各種機能との連携効果。
- ・運営者が日本財団である信頼性と安心感。

7. 悩みその3の解決策

<悩みその3>

協働の推進を加速するために必要な情報インフラとは？



<CANPANの地域・テーマ公益ポータル>

- ・ 情報開示や発信で得られる効果が大きくなる。
- ・ 地域を支える仕組みとの相乗効果が発揮される。



悩みが解消！

終わりに

地域のこれからを支えるためには、個人や団体、企業、学校、行政など全ての人が、地域の構成員として、それぞれの立場からそれぞれの役割を果たすことが必要です。

多くの構成員が関わるからこそ、お互いの信頼関係の基盤となる情報開示や、相手を尊重した伝わるコミュニケーションが欠かせません。

より良い協働の推進のためにも、最適な情報インフラを活用し、積極的な情報開示や発信に取り組みましょう!

本日はありがとうございました！

荻上 健太郎（おぎうえ けんたろう）
日本財団システム統括グループ情報コミュニケーションチーム

<連絡先>

電 話：03-6229-5305

E-mail：k_ogiue@canpan.info

ブログ：<http://blog.canpan.info/kaizokudan/>